



**参天製薬株式会社**

**2007年度 決算説明会**

**2007年度 連結業績概要**

**2008年度 連結業績予想**

**2008年5月9日**

**代表取締役社長兼COO**

**黒川 明**

(見通しに関する注意事項)

この資料は参天製薬の戦略、計画、業績などに関する将来の見通しを含んでいます。この見通しは、現在入手可能な情報をもとにした当社経営者の判断に基づいています。従って実際の業績は、事業環境の変化、新薬の承認時期、為替レートの変動、行政動向など様々な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



# 2007年度 連結業績概要



# 2007年度 決算概況

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	公表 見通し*	対公表 増減率
売上高	1,004	1,033	29	2.9%	1,033	0.1%
営業利益	204	203	▲1	▲0.2%	205	▲0.6%
経常利益	208	207	▲1	▲0.7%	212	▲2.3%
当期純利益	131	126	▲5	▲3.8%	137	▲7.7%

\*公表見通しは、2008年1月30日発表時のもの



## 2007年度実績のポイント

### 売上高

- 緑内障、角膜疾患領域中心に伸張。前期比僅かに拡大
  - 緑内障領域：既存品と新製品上市準備の両立
  - 角膜疾患領域：ドライアイ啓発活動は確実な手応えがあり、堅調な伸び
    - ただし、当初の見通し数値は下回る
- 競合ディフェンスでは一定の成果

### 売上原価・販管費

- 売上原価：品目構成の変化は限定的
- 販売費増加：ドライアイ啓発活動全国展開、競合ディフェンス  
アジア、EUにおける普及促進活動強化

# S 連結売上高:増減要因

2006年度  
実績売上高  
1,004.8億円

+29.1億円

2007年度  
実績売上高  
1,033.9億円

## 国内 + 14.1億円

### [増収要因]

- + 医療用眼科薬 + 10.4億円
- + 抗リウマチ + 3.1億円
- + 一般用医薬品 + 1.5億円

### [減収要因]

- + 医療機器 ▲ 1.1億円

## 海外 + 14.9億円

### [増収要因]

- + 欧州 + 16.2億円
- + アジア + 0.8億円
- + うち、中国 + 0.9億円

### [減収要因]

- + 北米 ▲ 1.7億円

## 国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 6.9億円
- + 角膜 + 15.8億円
- + 緑内障 ▲ 3.1億円
- + アレルギー ▲ 0.2億円
- + 粘弾性物質 + 4.2億円
- + その他 + 0.7億円

## 欧州

- + 医療用眼科薬 + 16.2億円
- + うち、ロア + 6.2億円
- + うち、北欧 + 4.2億円
- + うち、東欧 + 3.5億円
- + うち、ドイツ + 1.3億円

## 北米

- + 医療用眼科薬 + 4.4億円
- + 受託製造 他 ▲ 6.2億円



## 2008年度 連結業績予想



# 2008年度 連結業績予想

<為替レート>		
	2007年度実績	2008年度予想
US\$	114.29円	108.00円
Euro	161.98円	155.00円

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		予想	増減額
売上高	1,033	1,040	7
売上原価	365	363	▲2
(対売上高比率)	35.3 %	34.9 %	▲0.4 ppt
販売費・一般管理費	465	472	7
(対売上高比率)	45.0 %	45.4 %	0.4 ppt
研究開発費を除く販管費	335	332	▲3
(対売上高比率)	32.5 %	31.9 %	▲0.6 ppt
研究開発費	129	140	11
(対売上高比率)	12.5 %	13.5 %	1.0 ppt
営業利益	203	205	2
(対売上高比率)	19.7 %	19.7 %	0.0 ppt
経常損益	207	210	3
当期純利益	126	130	4



## 2008年度 通期のポイント

ドライアイ啓発活動は適正な規模で継続

緑内障領域での新製品上市準備

研究開発費は開発状況に応じ、140億円を予定

メリハリのある販促活動により経費は一定限度に抑制



# S 連結売上高:増減要因

2007年度  
実績売上高  
1,033.9億円

+ 6.1億円

2008年度  
予想売上高  
1,040.0億円

## 国内 + 11.6億円

### [増収要因]

- + 医療用眼科薬 + 2.2億円
- + 抗リウマチ + 2.9億円
- + 医療機器 + 7.1億円

## 海外 ▲ 5.5億円

### [増収要因]

- + 欧州 + 4.7億円

### [減収要因]

- + 北米 ▲ 9.4億円

### 国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 16.2億円
- + 角膜 + 10.5億円
- + 緑内障 ▲ 0.4億円
- + アレルギー + 11.5億円
- + 粘弾性物質 + 0.2億円
- + その他 ▲ 3.2億円

### 欧州

- + 医療用眼科薬 + 6.0億円
  - +うち、東欧 + 4.1億円
  - +うち、ドイツ + 1.6億円
- + 受託製造 他 ▲ 1.3億円

### 北米

- + 医療用眼科薬 ▲ 1.5億円
- + 受託製造 他 ▲ 7.8億円



# 参考資料



**参考資料**  
**2007年度連結業績概要**



# 販売部門別 売上高 / 海外売上高

## ■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2007年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	820.8	1.7 %	132.3	19.2 %	953.2	3.8 %
眼科薬	723.1	1.5 %	131.0	20.5 %	854.2	4.0 %
抗リウマチ剤	95.1	3.4 %	1.0	▲37.1 %	96.2	2.6 %
その他医薬品	2.4	▲5.4 %	0.2	▲63.1 %	2.6	15.3 %
一般用医薬品	54.3	2.7 %	0.2	▲0.8 %	54.5	2.7 %
医療機器	4.0	▲22.2 %	0.1	▲37.1 %	4.1	▲22.8 %
その他	6.4	6.7 %	15.5	▲28.7 %	22.0	▲21.0 %
合計	885.6	1.6 %	148.2	11.2 %	1,033.9	2.9 %

## ■ 海外売上高

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度		
		実績	増減額	増減率
欧州	69.1	85.3	16.2	23.4 %
北米	21.2	19.5	▲1.7	▲8.3 %
アジア	42.4	43.2	0.8	1.9 %
その他	0.4	0.1	▲0.3	▲58.8 %
合計	133.3	148.2	14.9	11.2 %



# 損益計算書 要約差異

<為替レート>		
	2006年度実績	2007年度実績
US\$	116.86円	114.29円
Euro	148.99円	161.98円

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		実績	増減額
売上高	1,004	1,033	29
売上原価	354	365	11
(対売上高比率)	35.3 %	35.3 %	0.0 ppt
販売費・一般管理費	445	465	20
(対売上高比率)	44.4 %	45.0 %	0.6 ppt
研究開発費を除く販管費	309	335	26
(対売上高比率)	30.8 %	32.5 %	1.7 ppt
研究開発費	136	129	▲7
(対売上高比率)	13.6 %	12.5 %	▲1.1 ppt
営業利益	204	203	▲1
(対売上高比率)	20.3 %	19.7 %	▲0.6 ppt
営業外収支	4	3	▲1
経常損益	208	207	▲1
特別損益	2	▲2	▲4
税引前当期純利益	210	204	▲6
法人税等	78	78	0
当期純利益	131	126	▲5

# 所在地別セグメント情報

## ■ 売上高

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		実績	増減額
日本	906	920	14
欧州	91	106	15
うち欧州	70	86	16
うち米国	21	19	▲2
その他 ※	6	6	0
合計	1,004	1,033	29

## ■ 営業利益

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		実績	増減額
日本	217	226	9
欧州	9	5	▲4
うち欧州	0	▲2	▲2
うち米国	9	7	▲2
その他 ※	▲7	▲8	▲1
消去又は全社	▲15	▲19	▲4
合計	204	203	▲1

※ その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです  
 売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



# 貸借対照表

(単位：億円)

	2006年度		2007年度		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,008	63.4 %	1,027	65.6 %	19
固定資産	582	36.6 %	535	34.2 %	▲46
繰延資産	0	0.0 %	2	0.2 %	1
資産合計	1,590	100.0 %	1,565	100.0 %	▲25
流動負債	223	14.0 %	265	17.0 %	41
固定負債	80	5.1 %	28	1.8 %	▲52
負債合計	304	19.1 %	294	18.8 %	▲10
純資産合計	1,286	80.9 %	1,271	81.2 %	▲15
負債純資産合計	1,590	100.0 %	1,565	100.0 %	▲25

## 【主要変動科目】

- 流動資産：現金及び預金 +11億円、受取手形及び売掛金 +5億円、有価証券 ▲10億円、たな卸資産 +9億円
- 固定資産：〔増加要因〕設備投資 +12億円、繰延税金資産 +18億円  
〔減少要因〕減価償却による減少 ▲27億円、投資有価証券 ▲40億円、  
投資その他の資産 その他 ▲12億円
- 流動負債：一年以内返済予定の長期借入金 +50億円、未払金 ▲8億円
- 固定負債：長期借入金 ▲51億円
- 純資産：〔増加要因〕当期純利益 +126億円  
〔減少要因〕配当金 ▲65億円、自己株取得 ▲48億円、有価証券評価差額金 ▲29億円



# キャッシュフロー計算書 要約

(単位：億円)

	2007年度 実績
現金等期首残高	498
現金等 増減額	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲20
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲114
現金等に係る換算差額	▲1
現金等期末残高	516

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません





## 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2006年度 実績	2007年度	
		実績	増減額
設備投資額	27	27	±0
減価償却費	32	33	+1
リース料	10	10	±0

### ■ 2007年度 設備投資 主要項目

- 中国での工場建設投資
- 製造設備の増設・更新
- 研究開発用機器の更新



**参考資料**  
**2008年度通期連結業績予想**



# 販売部門別 売上高 / 海外売上高予想

## ■ 販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2008年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	825.5	0.6 %	136.1	2.9 %	961.7	0.9 %
眼科薬	725.3	0.3 %	134.6	2.8 %	860.0	0.7 %
抗リウマチ剤	98.0	3.0 %	1.0	▲0.7 %	99.0	2.9 %
その他医薬品	2.1	▲12.3 %	0.3	92.6 %	2.5	▲4.4 %
一般用医薬品	56.0	3.2 %	0.1	▲39.0 %	56.1	3.0 %
医療機器	11.1	178.6 %	0.0	▲100.0 %	11.1	169.5 %
その他	4.4	▲31.1 %	6.4	▲58.3 %	10.9	▲50.4 %
合計	897.2	1.3 %	142.7	▲3.7 %	1,040.0	0.6 %

## ■ 海外売上高

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度		
		予想	増減額	増減率
欧州	85.3	90.0	4.7	5.5 %
北米	19.5	10.1	▲9.4	▲48.1 %
アジア	43.2	42.2	▲1.0	▲2.2 %
その他	0.1	0.3	0.2	82.8 %
合計	148.2	142.7	▲5.5	▲3.7 %

# 所在地別セグメント情報

## ■ 売上高

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		予想	増減額
日本	920	927	7
欧州	106	102	▲4
うち欧州	86	91	5
うち米国	19	10	▲9
その他 ※	6	10	4
合計	1,033	1,040	7

## ■ 営業利益

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		予想	増減額
日本	226	232	6
欧州	5	3	▲2
うち欧州	▲2	3	5
うち米国	7	0	▲7
その他 ※	▲8	▲4	4
消去又は全社	▲19	▲27	▲8
合計	203	205	2

※ その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです  
 売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



## 設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度	
		予想	増減額
設備投資額	27	23	▲4
減価償却費	33	37	+4
リース料	10	9	▲1

### ■ 2008年度 設備投資 主要項目

- 奈良研究開発センターの製剤開発棟  
および新付属棟の建設投資